

ー みんなの笑顔未来へつなぐー スーパー・シティ まつぶし

概要	町の魅力をより向上させるため、にぎわい創出につながる拠点を形成するとともに、デジタル技術の活用による住民利便性の向上を図る。加えて、地域ごとの災害リスクに応じた防災・減災の取り組みを強化することで、こどもや高齢者にやさしい、持続可能なまちづくりを目指す。			
課題	・人口減少、少子高齢化に伴う地域経済の縮小への対応（若年層、子育て世代の転出抑制、定住促進） ・地域課題を解決するデジタル技術の活用 ・公共交通の利便性の向上 ・激甚化、頻発化する災害への対応			
	コンセプト（目的）	目標時期	検討したい取組（施策）	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	公共交通ネットワークの整備・充実を中心とした活気とにぎわいの創出	中期（5年） ～ 長期（10年）	・東埼玉道路におけるBRT等の新たな交通手段の導入及び公共交通網の充実に向けた拠点づくり ・公共施設の再編に伴う公的不動産の活用 ・既存の公園や緑道等の再整備による活気やにぎわいが生まれる空間の創出	・公共交通の維持、充実 ・職住近接の実現 ・企業誘致 ・にぎわいの創出
スマート	デジタル技術を活用した住民利便性の向上	長期（10年）	・新たなモビリティ環境の整備 ・スマート農業の導入 ・行政手続きのオンライン化や次世代サービスの発展	・次世代モビリティの導入、実証実験 ・スマート農業技術 ・行政手続きのオンライン化
レジリエント	災害レジリエンスを備えたまちづくりの推進	中期（5年）	・再生可能エネルギーや蓄電池の導入促進による非常時の電源確保 ・EVの普及促進等によるゼロカーボンシティの実現 ・災害時の避難所や緑道等の機能確保、強化 ・自主防災組織の育成等による地域防災力の向上	・太陽光発電や蓄電池の活用 ・EVの導入 ・災害時の対応

コンパクト

公共交通ネットワークの整備・充実を中心とした活気とにぎわいの創出



・東埼玉道路におけるBRT等の新たな交通手段の導入及び公共交通網の充実に向けた拠点づくり等

スマート

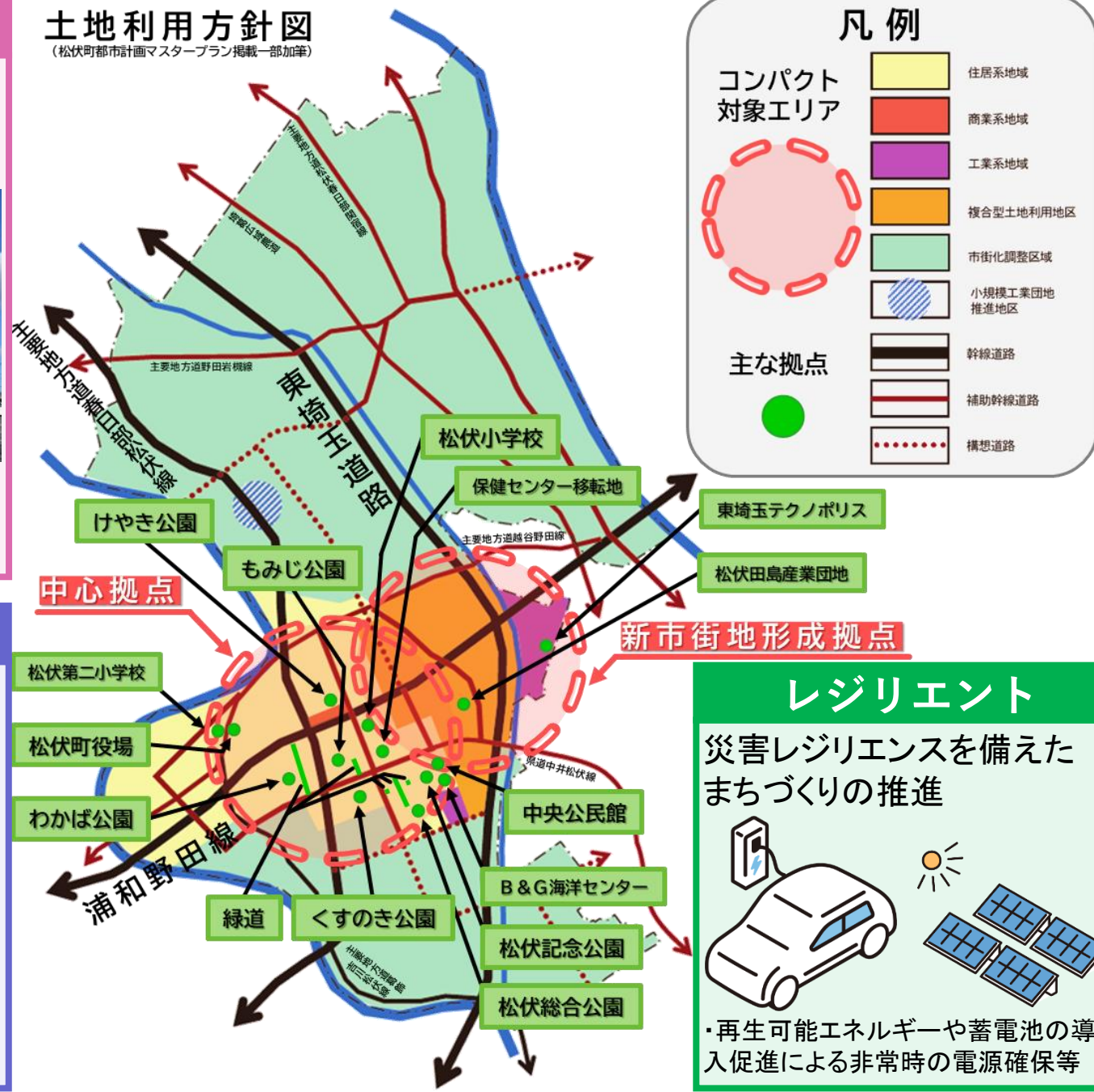
デジタル技術を活用した住民利便性の向上



・行政手続きのオンライン化や次世代サービスの発展等

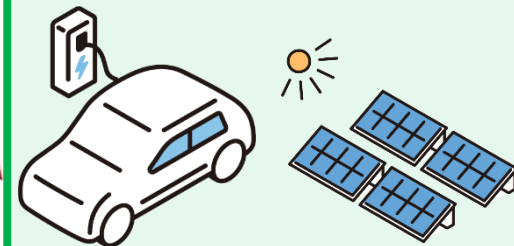
土地利用方針図

(松伏町都市計画マスタープラン掲載一部加筆)



レジリエント

災害レジリエンスを備えたまちづくりの推進



・再生可能エネルギーや蓄電池の導入促進による非常時の電源確保等